

1. 背景

a. 社会実験の条件

1. 写真映えするカットの必要性



SNSの中でもインスタグラムにおける写真を介しての情報発信力はとても波及性が高く、事業を行う上で考慮すべき点である。

2. ブランドコンセプト、カラーのデザイン展開



「本物力」と言うキーワードやシアン・マゼンタといったカラーを展開する

3. 低コストによる運用

低予算の中で費用対効果が最大となるような会場の演出を行う

4. 立食による 50 人規模の会場演出

事業者の方々に水辺の活用の魅力が伝わるような会場設営を行う

b. 開催敷地の条件

1. 水辺や神社に隣接する敷地 (周辺環境)



水辺や神社を借景として用いるなど、周辺の地域資源をデザインに取り入れる

2. 敷地の高低差 (地形)



目線の抜けなど、敷地の高低差を生かした会場の演出を行う

3. 水辺を囲む敷地の形状 (地形)



目線の交錯など、水辺を囲む敷地の形状を生かした会場の演出を行う

2. コンセプト

写真を撮りたくなる 水辺空間の演出

- 写真映えのする空間活用の可能性を示す -

ターゲット

参加者

招待事業者

発信者

instagram ユーザー

・ 18~29歳の若年層 (女性) が70%を占める

〈instagram 投稿の傾向〉

- ・ テーマ、コンセプトの明確化
- ・ ハッシュタグ機能の活用
- ・ 焦点を当てたアングルは真上から
- ・ 背景となる地をクロスやテクスチャを用いる
- ・ 同じものを定期的に連続させて撮影する
- ・ インスタ映えポイントを設ける
- ・ 女性の心をつかむ巨大フレーム
- ・ 浮遊感を演出するバルーン
- ・ 思わず触りたくなる壁面アート
- ・ ポップなネオンサイン

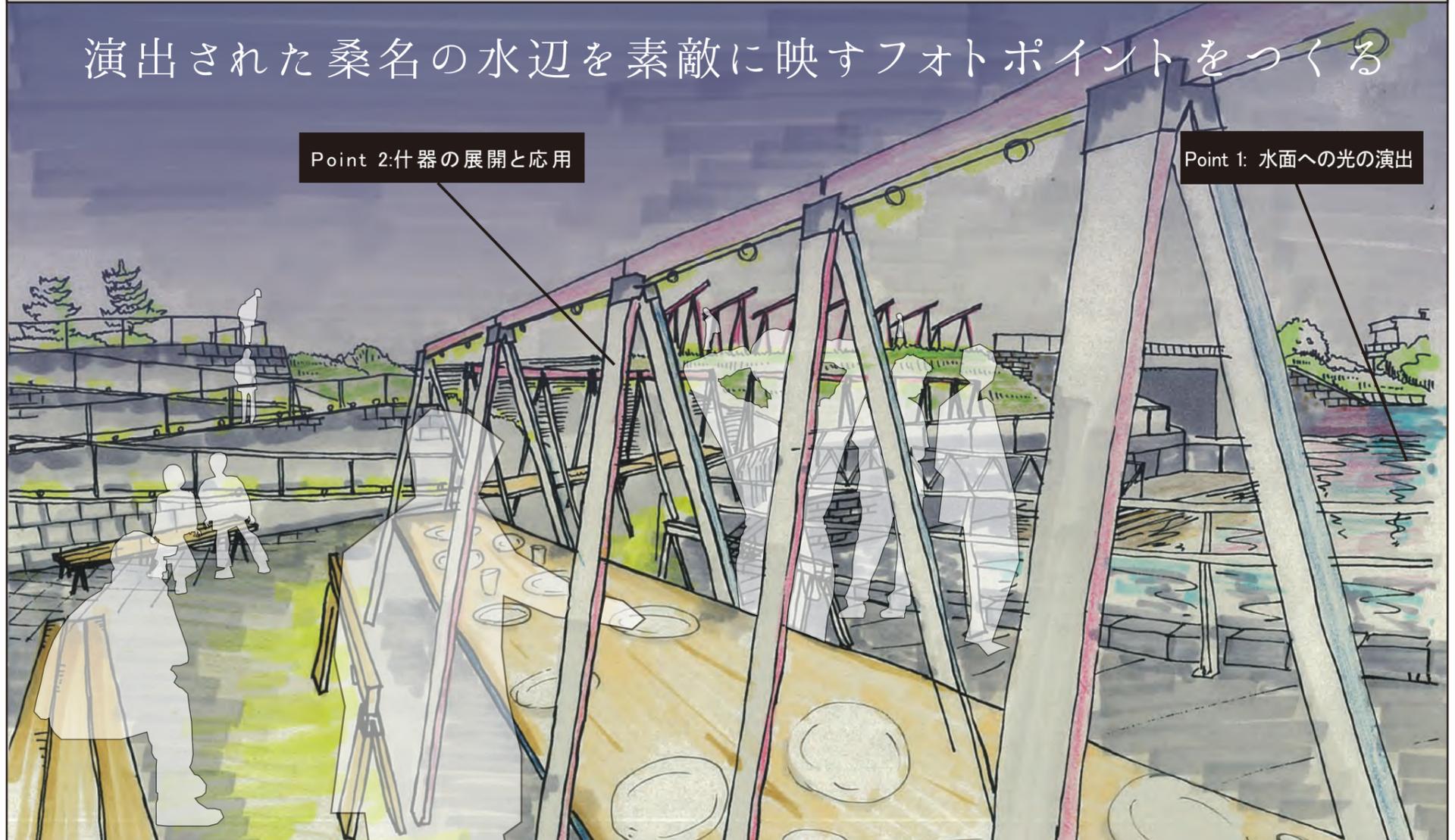


3. 提案

演出された桑名の水辺を素敵に映すフォトポイントをつくる

Point 2: 什器の展開と応用

Point 1: 水面への光の演出



■全体平面計画

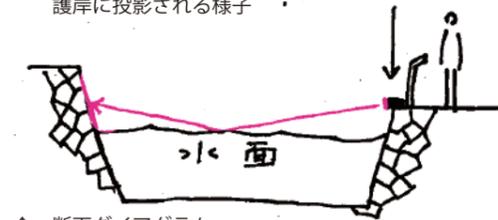


■Point 1:水面への光の演出

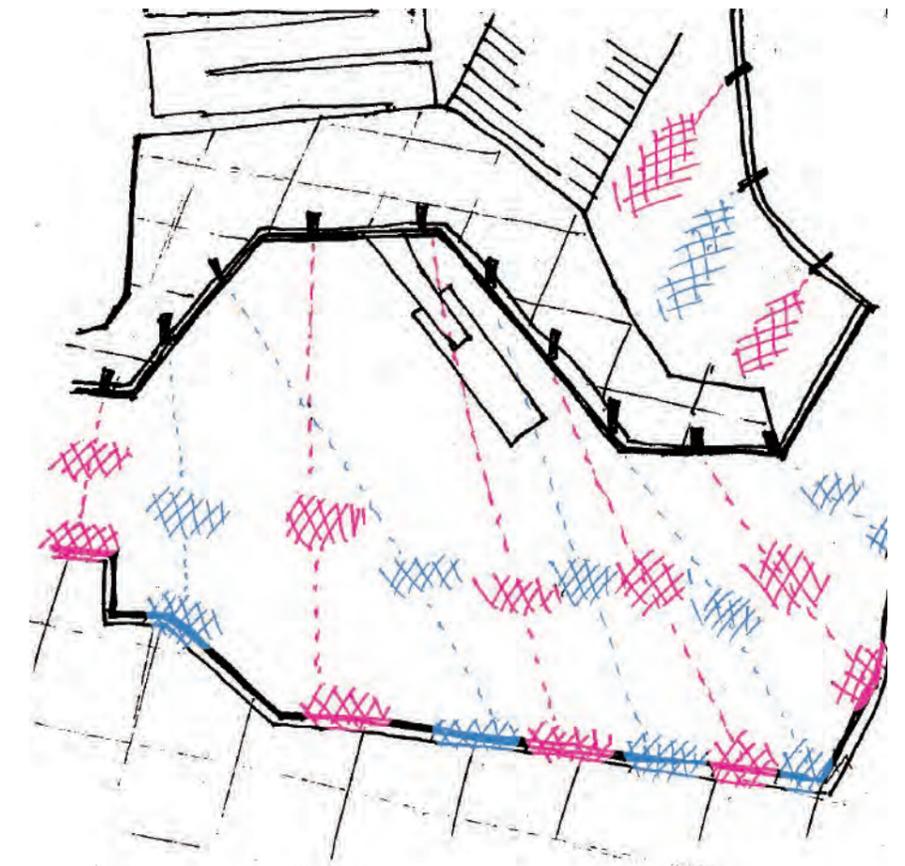
[概要]
水辺の資源として水面を活用する。シアン・マゼンタの色付きのライトを対岸の護岸や、船へ照射することで幻想的な雰囲気を演出し、写真のバックにしたいくなるシーンをつくる。



↑ 提案イメージ 水面に懐中電灯の光を反射させ、護岸に投影される様子



↑ 断面ダイアグラム



↑ 会場全体をシアン・マゼンタで幻想的に演出

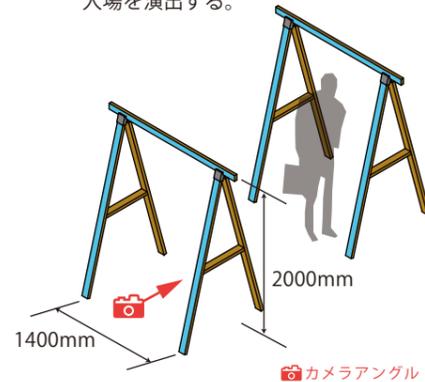
■Point 2: 什器の展開と応用



[概要]
DIY 用金具である「ソーホースブラケット」を活用して机をつくる。使用する2×4木材の長さを自在に変えることで様々な什器を組むことができる。会場が暗いため、上部に照明を設置できる形とした。また、塗装により、梁・柱・天板に囲まれた「フォトフレーム」を演出し、写真の撮影をアフォードすることができる。

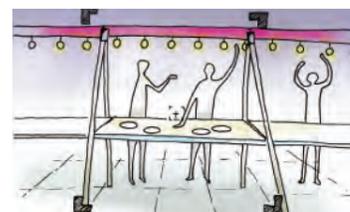
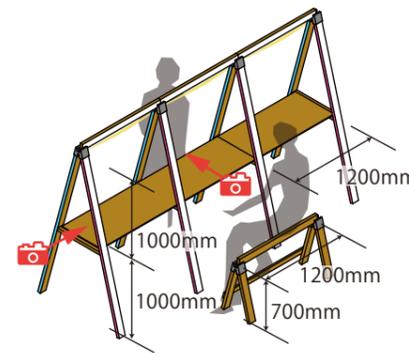
ゲート

[概要]
長い木材を用いてゲートをつくる。住吉神社や七里の渡しにおける「鳥居」のデザインを踏襲し、来場者の入場を演出する。



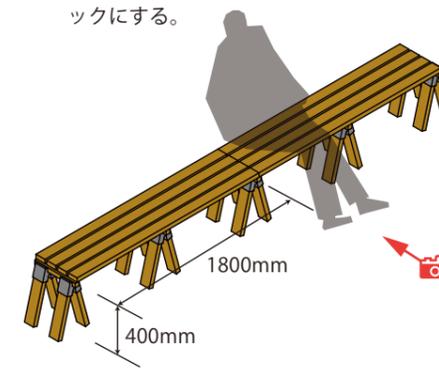
机&腰掛けイス

[概要]
ソーホースブラケットを応用し、机をつくる。飲食をおこなう会場内の中心的な什器となる。また、同様に腰掛け椅子をつくる。水際などにも配置することで会場を広く使うことができる。



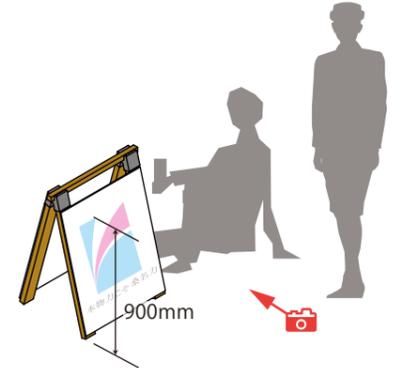
ベンチ

[概要]
短い木材を用いてベンチをつくる。社会実験のプログラムが2時間あるため、来場者が休息できる場所を提供する。また、城壁の前に配置することで背景をフォトジェニックにする。



看板

[概要]
ソーホースブラケットを応用し、看板をつくる。ブランドコンセプトや当日プログラムの案内をおこなう。



■地域木材を活かした組み立て式ロングテーブル案 (提供：KUMIKI PROJECT)



■PLAY ON STAND (仮)：組み立て式の木製屋台の活用事例 (提供：KUMIKI PROJECT・RELEASE;)



組み合わせの展開

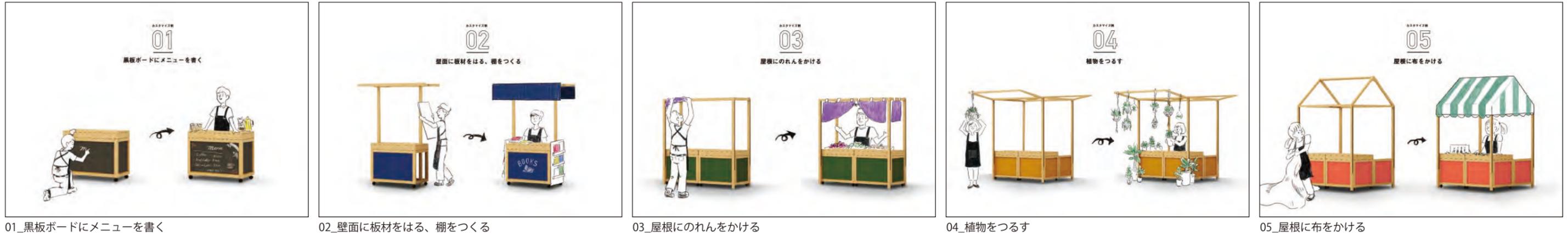
容易に分解できる

自由にカスタマイズできる

・使用イメージ



・カスタマイズ例



01_黒板ボードにメニューを書く

02_壁面に板材をはる、棚をつくる

03_屋根にのれんをかける

04_植物をつるす

05_屋根に布をかける